

教科		数学	科目	数学Ⅰ		学年	1	単位数	4
類型		共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択			
学習の到達目標					使用する主な教材				
数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。					・新編数学Ⅰ【啓林館】 ・エディノート数学Ⅰ・A【啓林館】 ・フォーカスアップ数学Ⅰ・A【啓林館】				
期	月	配当時間	学習内容		学習の具体的内容とねらい				
第一学期	4	12	オリエンテーション 第1章 数と式 第1節 整式 1. 整式とその加減 2. 整式の乗法 3. 因数分解 第2節 実数 1. 実数 2. 絶対値 3. 平方根		・整式に関する用語をまとめ，整式を整理して，加法と減法の計算ができるようにする。 ・二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め，式を多面的にみたり，目的に応じて式を適切に変形できるようにする。 ・数の範囲を，整数，有理数，実数へと拡張し，無理数，実数の意味やその性質を理解させ，計算できるようにする。				
	5	1	中間考査						
	6	20	第3節 方程式と不等式 1. 1次不等式 2. 2次方程式 第4節 集合と命題 1. 集合 2. 命題と集合 3. 逆と対偶		・不等式の性質が成り立つことを示し，1次不等式や連立不等式が解けるようにする。 ・2次方程式の解法について考え，解の公式を導き，理解させる。また，2次方程式が解けるようにする。 ・2次方程式の実数解の個数について調べる。 ・命題と対偶，必要条件，十分条件について，理解させ，それらの問題が解けるようにする。				
		1	期末考査						
	7	10	第2章 2次関数 第1節 関数とグラフ 1. 関数 2. 2次関数のグラフ 3. 2次関数の決定		・中学校で学習した2次関数の概念を復習し，平行移動の考えを理解させ，頂点や軸の方程式について考えさせ，放物線のグラフがかけられるようにする。				

教科		数学	科目	数学Ⅰ	学年	1	単位数	4
類型		共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択		
学習の到達目標					使用する主な教材			
数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。					・新編数学Ⅰ【啓林館】 ・エディノート数学Ⅰ・A【啓林館】 ・フォーカスアップ数学Ⅰ・A【啓林館】			
期	月	配当時間	学習内容		学習の具体的内容とねらい			
第二学期	8	4	第2節 二次関数の最大・最小 1. 二次関数の最大・最小		・二次関数のグラフを利用して，二次関数の最大値・最小値を求めることができるようにする。また，定義域を制限した場合について考えさせる。			
	9	16	2. 最大・最小の応用 第3節 二次関数と方程式・不等式 1. 二次関数のグラフとx軸との共有点 2. 二次不等式とその解		・二次関数のグラフとx軸との位置関係について考えさせ，判別式によって調べることができることを理解させる。 ・二次方程式の解と二次関数の関係を理解させ，二次関数のグラフと二次不等式の関係を考えさせる。また，二次不等式が解けるようにする。			
		1	中間考査					
	10	20	第3章 図形と計量 第1節 鋭角の三角形 1. 正接・正弦・余弦 2. 三角比の相互関係		・直角三角形の辺の長さの比と角の関係として，鋭角の正接，正弦，余弦を定義し，三角比の値を求められるようにする。 ・三角比の相互関係について理解をさせ，利用できるようにする。			
	11		第2節 鈍角の三角比 1. $0^{\circ} \leq \theta \leq 180^{\circ}$ の三角比 2. 三角比の相互関係		・三角比の定義を理解させ，鈍角の三角比や 0° ， 90° ， 180° の三角比の値についても求めることができるようにする。			
			1	期末考査				
	12	12	第3節 正弦定理と余弦定理 1. 正弦定理 2. 余弦定理		・正弦定理や余弦定理について理解させ，三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。			
第三学期	1	16	第4節 図形の計量 1. 図形の面積 2. 空間図形の計量		・三角形の面積について考えさせ，新たな公式を導き，問題が解けるようにする。 ・三角比を平面図形や空間図形の考察に活用できるようにする。			
	2	16	第3章 データの分析 第1節 データの散らばり 1. いろいろなデータの分析 2. データの傾向のとりえ方		・統計の基本的な考え(代表値，平均値，中央値，最頻値)を定義し，それぞれの統計的な意味を理解させる。 ・四分位偏差，分散及び標準偏差の意味を理解させ，データの散らばりについて考えさせる。			
		1	学年末考査					
	3	6	第2節 データの相関 1. データの相関		・散布図や相関係数の意味を理解し，2つのデータの相関を把握できるようにする。			
評価の方法			①中間考査，期末考査，学年末考査の成績 ②問題集や課題などの提出物の内容 ③授業や学習活動の参加の仕方や態度など					